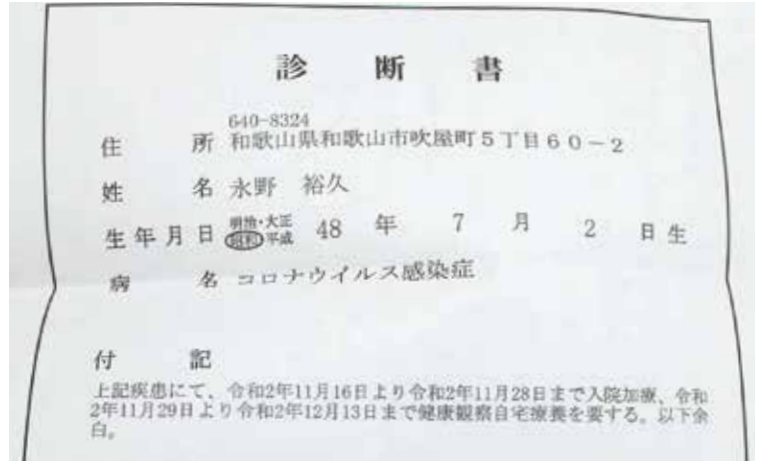


和歌山市議 永野裕久の体験記 「新型コロナウイルスに感染して」

「和歌山市議、新型コロナ感染！」

令和2年11月16日、新聞4紙、テレビ、ラジオ、ネットニュース等で私の名前が報道されました。一昨年秋、私は新型コロナウイルスに感染しました。13日間の入院生活を送り、11月28日に退院、その後は医師の判断で12月13日まで自宅療養となりました。



▲主治医により28日間の加療及び自宅療養が必要と付記された診断書 (入院時より11kgの体重減となる)



和歌山市議会議員(4期)

ながの ひろひさ

永野 裕久

1973(昭和48)年生まれ、和歌山市出身
和歌山県立和歌山東高等学校 卒業
[党役職] 和歌山県連副幹事長
[所属委員会] 厚生委員会、議会運営委員会、
地震等災害対策特別委員会

感染経路は明らかでした。先に感染が確認された50歳代男性(11月14日、県発表)が出席していた11月9日の会議に、本来出席するはずだった方が急遽欠席となったことで私が代理として出席したのです。

会議は飲食を伴わず30分程度で終了しました。入室時には手指のアルコール消毒、出席者全員がマスクを着用し、席と席の間隔も広くソーシャルディスタンスがとられた環境でした。会議中は窓も開けられていました。

ただし、入口ドアは閉められていたそうです。私はドアを背に座っていたので分からなかったのですが、後の県の記者会見では「入口ドアは開けておく方が良かった。出来れば倍くらい広い部屋が望ましかった」と指摘されていました。

私はこの会見のテレビニュースを病室で観ました。専門家の意見なので異論はありません。ただ、仮に私が最終入室者によるドアの閉鎖に気がついて、部屋の広さの基準を理解していたとしましょう。それでも人の往来のある廊下に面した貸し会議室のドアを開けておくよう指摘するのは難しいと思うのです。代理出席した私が「倍の広さがある部屋に変更すべき。入口のドアは開けておいてください、そうでなければ私は出席できません」と、言える立場ではなかった。

当時、厚生労働省が定義する濃厚接触者とは「必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離(1桁程度以内)で15分以上接触があった場合」でした。

私の場合、この定義には該当していませんでした。保健所との電話でのやり取りの際も、私は「濃厚接触者には該当しませんよね?」と確認すると「はい、濃厚接触者の定義には該当しません」との回答でした。ただし、別の出席者からも陽性反応が出たことから「強制ではありま



▲隔離された病室
▶主食がお粥の入院中の食事



▲胸部CT画像(病院名と主治医名等は加工済)
左側:肺陰影が確認される入院直後のCT画像
右側:加療により改善された退院直前のCT画像

せんが、会議出席者全員にPCR検査の協力要請をしています。ぜひ、ご協力頂けませんかとのことでしたので、私は快く応じました。

検査の結果、新たに4人、先の感染者を含め計5人に感染が確認されました。私を含め会議出席者全員を「濃厚接触者」とした県発表には異論はありますが、市議という立場上、世間に分かりやすく伝えるためにそう発表した県の立場も一定理解した上で、「濃厚接触者」の定義については再考すべきだと考えます。

入院中、主治医をはじめ医師、看護師の皆様には大変お世話になりました。そんな医療従事者の皆様に加え、和歌山市保健所職員の命がけの職務遂行を目の当たりにし、ただただ頭が下がる思いです。

コロナ患者という貴重な体験をした和歌山市議会議員は私だけです(令和4年3/1現在)。「人生に無駄な経験なし」。この貴重な体験を糧に、私にしか出来ない現場の声を届けることこそが、私に課せられた使命であると同時に恩返しだと思っています。私も命がけでコロナに限らず様々な感染症対策の充実に粉骨砕身の努力を傾注していく思いを強くしています。

雇用と「人口減少」について



和歌山県議会議員〈5期〉

うらぐち こうでん
浦口 高典

1955(昭和30)年生まれ、和歌山市今福在住
早稲田大学教育学部 卒業
【党役職】和歌山県連幹事長
【所属委員会】総務委員会、防災・国土強靱化対策特別委員会、議会運営委員会

今年1月25日、和歌山県に大きな衝撃が走りました。それは、石油元受大手のENEOS(エネオス)ホールディングスが来年10月をめどに、和歌山製油所(有田市)を閉鎖すると発表したことです。それが現実となると従業員約450人、関連会社約900人が現在の職場を失うことになります。

また、その影響は有田市だけに留まらず、県下全域に広く及ぶものと考えられます。

昨年9月末の日本製鉄(和歌山市)の高炉が元々最盛期には5基あった中で、2基残っていたうち1基を休止したことに続き、大変なショックでありました。

これらのことが契機で、働き手である若い世代の人たちの県外流出が、更に進むことが考えられ、ただでさえ全国トップクラスの本県の「人口減少」に、拍車がかかる可能性が益々大きくなってきました。

もちろん県も、仁坂知事をはじめ商工観光労働部を中心に、企業誘致に真剣に取り組んでいることは充分承知しておりますが、なかなか追いついていない現状があります。

それならば、難しいことかもしれませんが、和歌山県内の有力な民間企業の〈知恵〉と〈能力〉を十二分に引き出させて頂き、新しい事業と雇用を生み出し、若者を地元に残ってもらう努力を積み重ねていくべきです。そうでないと和歌山県の未来は、今以上に厳しいものになると認識しております。



「ニッケンスクール高典塾」にて日本拳法の指導

和歌山市の財政と子育てについて



私が議員に当選させていただいてから2年と9カ月が経ちました、その間最初の半年を除くほとんどの期間がコロナウイルスの蔓延拡大が続き生活の中ではwithコロナという言葉が定着しつつあります。

今回はコロナの話からは少し離れ、和歌山市の財政と子育てについて書かせていただこうと思います。この2点は私が議会の一般質問で議論させていただく内容の中でメインとなっているものです。なぜ財政と子育てなのか、と聞かれることがよくあります。和歌山市の財政状況は正直良い状態ではありません、借入れている市債の残高は3300億円~3500億円で推移し、元金・利息を合わせて毎年300億円程度の支払いを続けており、これから先も当面はこの状況が続くと思われま。

それに対して和歌山市の財政調整のための基金は2016年には150億円あったものが、2020年には42億円まで減少、令和6年には30億程度になると予想されています。市民1人あたりで計算すると100万円の借金に対して預金が1万円という内容です。

ここまでの話はコロナが蔓延する前までの話であり、この先経済状況は更に悪化する可能性が高く、今まで積み上げてきた市債の残高・借金は将来世代の大きな足かせ、また和歌山市財政の破綻の可能性を残すこととなります。ではどうやってそれを防ぐのか、企業誘致等で大企業を呼び込み税収を増やすことができれば解決するかもしれません。しかしご存じのとおりここ数十年そういった話はありませんし、状況は悪くなる一方で一気に解決できるような特効薬はありません。

私は市財政の内訳に問題があると思います、一般会計予算1500億円のうち45%大体700億円弱が民生費、社会福祉関係の費用となります。これは地方の高齢化率が高いこともあり必要な出費になります、人口構造上逆ピラミッドになっている労働可能人口・または将来の和歌山市を支えていってくれる子ども達への投資が和歌山市は明らかに少なく、教育費は全体の6%約90億円前後で推移しています。(字数の制限上、続きは次回に書かせていただきます)



和歌山市議会議員〈1期〉

やまなか としお
山中 敏生

1984(昭和59)年生まれ、和歌山市砂山出身
近畿大学経済学部経済学科 卒業
【党役職】和歌山県連幹事
【所属委員会】経済文教委員会、広報委員会

ガソリン値下げの公約、実現へ

対決より解決

トリガー条項の凍結解除を粘り強く求めた結果、岸田総理が前向きな答弁▶国民民主党は来年度予算案に賛成

トリガー条項の凍結解除を求めた玉木代表に対する岸田総理答弁



2021
10/12 凍結解除は適当でない

10月21日 国民民主党が衆院選の追加公約に

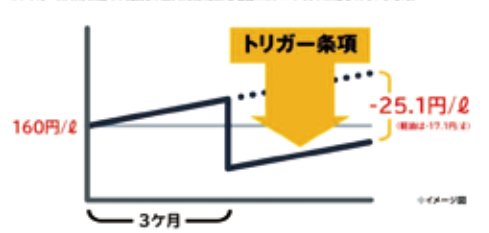
12月 6日 トリガー条項凍結解除法案を国会に提出 (日本維新の会と共同提出)

12/9 凍結解除は適当でない

2022
1/20 凍結解除は適当でない

国民民主党 緊急追加公約
ガソリン・軽油価格の高騰を抑える
トリガー条項の凍結解除

トリガー条項(燃料特別措置法第六十九条)とは、ガソリン価格が3ヶ月連続で160円/ℓを超えた場合に、上乗せされている特別税率を停止しガソリン価格を25.1円/ℓ(軽油は17.1円/ℓ)引き下げる措置です。このトリガー条項は東日本大震災の復興財源確保を名目に2011年に凍結されていました。



国民民主党は、日本経済の回復とクルマ依存度の高い地方の生活を守るため、トリガー条項の凍結を解除します。

2/18 あらゆる選択肢を排除せず

2月21日 衆院予算委
あらゆる選択肢を検討する中で国民民主党の提案をしっかりと参考にする



なぜ予算案に賛成したのですか？



- ✓ コロナという非常時に予算の早期成立が必要
- ✓ 賃上げや人への投資を重視している
- ✓ 総理がトリガー条項凍結解除の検討を明言

これからも前例にとらわれず、国民生活のために政策本位で行動します！

